



「食品表示」の疑問解決！食品表示研修会を開催



10月1日、結城普及センターで食品表示研修会を開催しました。研修会では、茨城県生活衛生課 食の安全対策室から「食品表示法の概要」「生鮮食品・加工食品の表示」「栄養成分表示」についての説明がありました。

平成27年4月1日に食品表示法が施行され、食品表示の大きな変更がありました。主な変更点は、「アレルギー表示方法の変更」「栄養成分表示の原則義務化」「機能性表示食品の新設」「添加物における表示事項の追加」です。

関東・東北豪雨の後にも関わらず、多数の方が研修会に参加され、参加者の関心の高さが感じられました。

参加者からは、「もっと詳しく聞きたかった」「自分たち（グループ）の表示がっているか不安だから、今度一緒に確認してほしい」という声も聞かれました。

今後も普及センターでは、茨城県生活衛生課 食の安全対策室等と連携して、継続的に食品表示の情報提供を行うと共に食品表示を適正にするための支援を行っていきます。

- 名称
- 原材料名
- 添加物
- 原料原産地名
- 内容量
- 固形量
- 内容総量
- 消費期限
- 保存方法
- 原産国名
- 製造者

一括表示様式
該当しない表示事項は省略可

アレルギー表示 特定原材料7品目



小麦 そば 卵 落花生 乳
原材料ごとに個別表示が原則
例) 植物油脂 (大豆を含む)

諸川青果で平成27年度レタス目揃い会が開催されました



9月16日、諸川青果において平成27年度レタス目揃い会が開催されました。

諸川青果は古河市にある産地市場ですが、八千代町や結城市からの出荷者も多いことから、以前から農薬の適正使用や生産履歴記帳の徹底、エコファーマーの申請支援等を行ってきています。

目揃い会では、現物を見ながら、選果・選別について熱心に検討が行われました。

普及センターでは、レタスの育苗管理の確認や害虫防除、農薬の適正使用について注意喚起を行いました。特に昨年度多く発生したべと病については、育苗中からの防除の徹底を働きかけました。

今後も地域が一体となって安全・安心で品質の高い農産物を販売していけるよう、普及センターでは関係機関と連携しながら、支援していきます。

JA常総ひかりで千石抑制胡瓜統一目揃え会が開催されました



9月29日、JA常総ひかり主催の千石抑制胡瓜統一目揃え会が開催されました。関東・東北豪雨により、一部の部会員も被害を受けましたが、被害を受けた方も含め20名もの生産者が出席しました。目揃え会では、不安定な天候の中でも安定して高品質なキュウリを出荷するため、全員で規格をしっかりと確認していました。

普及センターからは、まずキュウリ黄化えそ病の特徴や防除法について説明しました。また、収穫終了後の対策も紹介しました。

次に、浸水被害の対策について説明しました。水害の被害を受けたハウスでは、土壌が流亡したり、病気が発生したりしています。そのため、流亡した窒素やカリを追肥で補うことや、土壌の流亡が激しい場合の客土の方法、細菌病等の防除を行うことなどを説明しました。

普及センターでは、今後も黄化えそ病をはじめとした病害虫対策に加え、水害後の対策の支援を継続して行っていきます。

～農作業安全・大型特殊免許(農耕用)等取得研修のご案内～

トラクターの基本操作と安全運転技術を習得し、大型特殊免許（農耕用）またはけん引免許（農耕用）の取得を目指します。

場所 茨城県立農業大学校（茨城町長岡）

定員 各回25名程度（大型特殊免許（農耕用）15名程度、けん引免許（農耕用）10名程度）
※定員を超過した場合は、「抽選」となります。

経費 8,958円（受講料：2,400円、テキスト代：1,000円、傷害保険料：558円、免許試験手数料：2,950円、免許証交付手数料（合格した方のみ徴収）：2,050円）

問合せ・申込 茨城県立農業大学校庶務部研修科（TEL 029-292-0419）または、
結城地域農業改良普及センター（担当：高松）（TEL 0296-48-0184）

実施時期 及び 申込受付期間

開催	申込受付期間	研修時期
第7回	11月2日(月)～13日(金) 抽選日：11月24日(火)	1月18日(月)～21日(木)
第8回		2月2日(火)～5日(金)
第9回		2月15日(月)～18日(木)



※今年度の第1～6回の受け付けは終了しました。

土壌・肥料のはなし — 土壌診断をしましょう —

普及センターでは土づくりの推進と効率的な土壌改良による生産性の向上のため、土壌診断を実施しています。土壌診断を依頼する場合、下記の点に留意していただくようお願いします。

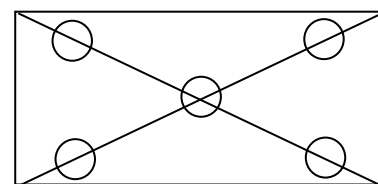
1 土壌サンプルの取り方

①採取時期：原則として、後作物を作付けする耕起前にとる。

②採取地点：ほ場の対角線上の交点と線上の5地点からとる。

③取り方

- ・移植ゴテなどで表面の土を5cm程度取り除く。
- ・一定の深さ（5～10cm程度）の土壌を均一にとる。
- ・各地点から同程度の量をとる。→ すべての土をよく混ぜ合わせる。
- ・大きな土塊などを砕いて新聞紙などの上に薄く広げ、**乾燥させる**（できればハウスの中などで行う）
- ・**乾かした土をふるいに通す。**
- ・茶碗一杯程度（50g）の土をビニール袋にとる。
- ・**ビニール袋に氏名・ほ場の番号**など（どこの土か自分がわかるような印）を書く（できれば前作・後作予定作物も書く）。ビニール袋は各自用意してください。



5地点から採取

2 データの返却について

サンプル受付時から、返却までに2週間以上かかる場合がありますので、余裕を持ったの依頼をお願いします。